



それぞれの図書館、それぞれの読書

図書館をよく利用してくれた2年生に原稿をお願いしました。図書館の楽しみ方や読書についての思いが伝わってきます。2年間の学生生活で、実習や課題、友人関係など多くの経験をし、そのなかで身につけた図書館の使い方がこの先役に立って、卒業後も大きな力になることでしょう。

新しい世界が広がる読書

M. A.

大学の図書館には、古い本から最新の書籍まで幅広く揃っていて、調べものはもちろん、空き時間に閲覧席でゆっくり読書するのにぴったりの場所です。私も授業の合間や放課後によく利用してお気に入りの本を見つける楽しさを味わいました。落ち着いた空間で読書すると自然と物語の世界に引き込まれ、リフレッシュできる時間になります。

そんな図書館で出会った本の中でも特におすすめなのが、田辺聖子さんの『おちくぼ姫』（角川文庫）です。この作品は、日本版シンデレラ物語ともいわれ、千年以上も前に書かれた「落窪物語」をもとに、現代語で読みやすく書かれています。継母にいじめられ、屋敷の隅で暮らす姫が、忠実な家臣の助けを得て美しい恋を实らせる物語で、身分差を超えた恋や主人公の成長がロマンチックに描かれています。昔の物語と聞くと難しそうに感じるかもしれませんが、田辺さんの訳はとても親しみやすく、ユーモアを交えながら軽快に物語が進んでいきます。現代の恋愛小説のようなときめきを感じられるのも魅力です。

図書館には、まだまだ素敵な本がたくさんあります。気になった本を手にとってみることで、新しい世界が広がるかもしれません。ぜひ図書館を活用してお気に入りの一冊を見つけてください。



実習前、好きな本をさがしに…

Y. K.

入学する前は、「あまり図書館は利用しないだろう」と思っていました。けれど実習前になると、読み聞かせなどの部分実習があると知って、年齢にあった絵本を調べて借りに行く機会が増えていきました。

私は「ハリー・ポッター」の作品がとても好きで、小説の存在は知っていましたが、なかなか買う勇気が出ませんでした。大学の図書館には置いてあるかもしれないと思って、パソコンで検索すると1巻から所蔵されていたのでさっそく読み始めました。シリーズが沢山あるので、実習の息抜きになってリフレッシュできました。

みなさんも最初はあまり図書館を利用しないと感じているかもしれませんが、自分にあう素敵な本がきっとあるはずです。ぜひ足を運んでみてください。



本が好きな姪っ子のために

K. Y.

2年間私が図書館に通った理由は、本がとても好きな姪っ子に読んであげる絵本や紙芝居を借りるためです。わくわくしながら見てくれる姪っ子にもっといろいろな本や紙芝居などを見せてあげたいと思い、さまざまなジャンルの本がある横短の図書館に何度も通うようになりました。



また実習に役立つ本もたくさんあるので、安心して部分実習などにも取り組むことができました。絵本選びや、さがしている本がどこにあるのかわからないなど悩んだ時には、図書館の方が親切に対応してくださいました。

みなさんも空き時間には、AV室で映画やアニメのDVDを観ることもできるので、ぜひ図書館に行ってみてください!!

メールアドレスの登録をどうぞ。

延長、予約、リクエストの連絡に便利です。

QRコードを読み取り学年と氏名を送信してください。折り返し、登録完了のメールを送ります。

卒業後も資料の問い合わせなどに活用してください。

*登録されたアドレスは図書館からの連絡以外には使用しません。





●●卒業を迎えるみなさんへ●●



『シグゲのおうちはどこ？』（ステイーナ・ヴィルセン）

図書館長 スティーヴン・ソムソン

社会的養護の現場に就職する卒業生やこの分野に関心ある進級生に、スウェーデンの子ども権利擁護団体が出版した絵本『シグゲのおうちはどこ？』をお勧めしたい。

この物語の主人公はもうすぐ7歳になる少年シグゲ。シグゲは母親と二人で生活しているが、母親の体調が悪く、一日中ベッドに横になり、シグゲの世話ができていない。食事の用意さえできない日も度々あった。ある日、知らない女性がアパートに現れ、シグゲの気持ちを理解し、ゆっくりと関係を築き、シグゲを里親のもとに連れていく話である。シグゲを通して、家庭から保護される子どもの様々な感情や思い（保護された時の不安、親から離れる悲しさ、世話をしてくれる里親の心地よさ、面会に現れない親への思いなど）が子どもの目線から描かれている。

社会的養護で生活している子どもの多くは、自分だけが辛い経験をしていると思い、深い孤立感を抱える。この絵本を通して、施設や里親で生活している子どもが「自分だけではない」ことに気づき、信頼できる大人に自分の気持ちや経験を話す手助けとなることが期待される。

絵本の対象年齢は小学校低学年とされているが、読み手が大人であれば、幼児も理解できる内容である。社会的養護で生活している子どもに読ませてあげたい物語である。 （子どもの未来社）



『やさしいかいじゅう』（ひさまつまゆこさく・え）

宗 梨紗

この絵本は変わった見た目をしているせいで森の動物たちから嫌われているかいじゅうのお話です。毎日泣いていたかいじゅうはある日、木の芽に出会います。木の芽はかいじゅうの涙のおかげで芽を出すことができ、二人は友達になります。やがて大きく成長した木にはたくさんの実がなり、森の動物たちが困った時に分け与えます。

見た目が「普通」と違うと目立ってしまい誤解をされてしまいますが、本当に大事なのはその人自身の事を知ろうとする気持ちなのではないでしょうか。かいじゅうは悲しい思いをしたけれど、困った動物たちをほっておかず手を差し伸べました。それは動物たちの気持ちを考えたからであり、動物たちもようやくやさしいかいじゅうなのだ気づいたので



す。これから社会にでる皆さんは様々な人と出会うと思いますが、人を受け入れる優しい心を持ち続けていってほしいと思いこの本を紹介します。 （富山房インターナショナル）

『わが友の旅立ちの日に』（安野光雅）

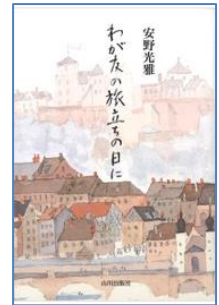
原 真由美

ずっと見ても飽きない絵本『ふしぎな絵』や、美しい街並みとそこに暮らす人々を精密に描いた「旅の絵本シリーズ」など、安野さんは知的な遊び心に満ちた絵本を生涯に数多く生み出しました。絵を描くだけでなく様々な分野に見識が深く、魅力的なエッセイも数多く残しています。

その一冊であるこの本には、『アンネの日記』（アンネ・フランク）、『即興詩人』（アンデルセン）、『走れメロス』（太宰治）など、古今東西の名作が若い頃のエピソード（友人のこと、出会いや別れなど）と共に紹介されているので、堅苦しくなく気軽に読んでみたいという気持ちになります。

「いくら時代が変わっても「本を読んで、自分で考えることが大切なことはかわらない」と、わたしは信じています」と、読書は考える力を鍛えてくれることを教えてください。

しばらくは忙しくて本を読む時間はないでしょうが、いつかひと息ついたとき、このエッセイに道案内をしてもらって紹介されている本を一冊ずつ読んでみてください。物語の世界に浸って空想することの楽しさを教えてください。挿絵がきれいなこの本を大きな未来が待っているみなさんに贈ります。
(山川出版社)



★図書館サポータークラブ★

図書館の仕事を体験しました

時間のある時に
自分のペースで
活動できる
クラブです。



楽しかった
です！



1月、クラブのメンバーで「図書館にあったらいいな」と思う絵本や小説を本屋さんへ買いに行きました。その後、選んだ本のカバーをのりづけしたり、日付カードを入れるポケットを貼って、本棚に並ぶまでの作業を体験しました。新着図書コーナーに展示しましたので利用してください。ほかにも、壊れた「しかけ絵本」を直したり、3階の本棚をふき掃除しました。目に見えない色々な仕事があることを知りました。

活動に興味のある人はカウンターで声をかけてください。

卒業後も役立つ保育雑誌

季節の遊びや計画が盛りだくさん



図書館では保育を中心に様々な分野の雑誌を購読しています。雑誌は図書よりも情報が早く話題のニュースも満載です。普段から特集テーマを見ておくだけでも参考になりますし、授業や課題、実習で図書と同じように雑誌を活用できるといいですね。もちろん、卒業後も保育の現場でアイデアが欲しいとき役立ちます。購読しているうちの一部を紹介します。

実習、課題に便利！

授業や実習、現場へ出てからも役立つものに**保育の友**、**PriPri**、**保育とカリキュラム**、**新・幼児と保育**などがあります。豊富な写真やイラストで実例が紹介され、壁面、行事の製作など内容が盛りだくさんです。指導計画案があり年齢別に毎月の計画、遊びの具体例が掲載されているので図書より題材が新鮮で実践的です。

子どもの健康や病気について知りたいときは**チャイルドヘルス**、**保育と保健**、**病児保育研究**があります。園では思わぬ子どもの事故や病気に遭遇することがありますので日頃から知識を蓄えておきましょう。

こどもの栄養は、カロリー計算された毎月の献立が年齢別に掲載されていて便利です。（季刊）**児童養護**、**実践みんなの特別支援教育**は、児童養護施設、障がい児教育に関する専門誌です。

卒業後も強い味方！

保育の現場で役立つと思われるものが**幼児の教育**、**幼児教育じほう**、**キリスト教保育**、**仏教保育カリキュラム**、**エドゥカーレ**など。薄くて小さな雑誌ですが現場の話題が豊富です。**ほいくあっぷ**は興味、関心が高いテーマについて分かりやすく掘り下げて保育の質向上を目指しています。**ちいさいなかま**は保育士さんの声が多く掲載され園の先生方にも広く読まれているようです。社会との関わりかたについては**保育界**、**私幼時報**、**問題**、関心を発展させて議論しているのが（季刊）**保育問題研究**です。保育の研究誌は多くありませんが**保育の研究**、**保育学研究**が参考になります。社会における保育の最新情報は**保育情報**や**保育通信**、切り抜き速報**保育と幼児教育版**が参考になります。



卒業後のご利用* お待ちしています!

卒業後も在学中と同じように図書館を利用できます。仕事帰りや平日のお休みを利用して資料をさがしに来る卒業生がいます。保育のアイデアが必要な時、息抜きをしたい時、使い慣れた図書館にまた足を運んでください。

◆利用方法◆

1. 本館受付で手続きをして図書館まで来てください。
2. 平日 16:00 以降に利用する際は、事前予約をしてください。前日までに利用日時をメール (lib@yokotan.ac.jp) または電話 (直通 045-835-8115) で連絡ください。
3. ライブラリーカードを持参してください (更新手続きをします)。

*利用の際は、開館日など最新情報をホームページで確認してください。

便利なホームページを活用してください。

The screenshot shows the library's homepage with several callout boxes:

- 自宅から本もさがせます** (You can find books from home) - points to the search bar.
- カレンダーで開館日を確認** (Check opening days with the calendar) - points to the calendar icon in the header.
- 詳しい利用について** (Detailed information about usage) - points to the '利用案内' (Usage Information) menu item.
- 最新のお知らせ** (Latest notices) - points to the 'お知らせ' (Notice) section.

★開館時間など日程はホームページ、掲示などで確認してください。

後記

2年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。レポート課題、実習前、たくさんのご利用ありがとうございました。毎年この季節は寂しくなりますが、新たな世界へ羽ばたく皆さんのことをこれからも応援しています。卒業後も慣れ親しんだ図書館をご利用ください。お待ちしております。(原)